豊かで安心して住み続けられる地域づくりを目指して

総合学科北海道余市紅志高等学校が目指す資質・能力育成の方策

スクール ミッション

（1） 関連する科目のまとまりである「系列」及び幅広い選択科目の学習を通じて、自立して生きていくために必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
（2） 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成

グラデュエイト・ポリシー

校訓

学　べ ＜思考力・判断力＞
優しく ＜想像力・表現力＞
逞しく ＜主体性＞

→

目指す資質・能力

◎基本的知識・技能	◎課題発見・解決力	◎言語能力
◎協働性	◎自他尊重	◎多様性の理解
◎意欲・実行力	◎責任・使命	◎健やかな心身

カリキュラム・ポリシー

（1）学校教育目標やめざす生徒像実現のため、*教科・科目横断的な教育課程*の効果的編成に努める。
（2）各系列の趣旨を明確にし、趣旨に基づいた特色ある科目を設定してめざす生徒像の実現を図る教育課程の編成に努める。
（3）語学や起業、地域おこし、福祉など、生徒が将来どのような地域で生活しても、*地域社会の一員として地域の課題解決のため様々な人々とともに取り組みながら自己実現を図ろうとする意欲*の醸成を目的とする、地域に開かれた教育課程の編成に努める。
（4）小規模総合学科の弱みを軽減し、強みを活かせるよう、教育活動全般を合理的、系統的に統合する教育課程の工夫に努める。

アドミッション・ポリシー

（1）中学校までに将来の進路目標が見つかっていなくても、本校に入学してから、自らの在り方・生き方を仲間や教員とともに、地域をステージとした様々な体験的な活動を通じて探究し、自ら進路目標を決定し、進路実現を果たそうとする生徒。
（2）自らの考えや思いをことばや創作物などのパフォーマンスによって他の人に伝えたり、他の人の考え方や思いをよく見聞きして想像したりしながら理解を深め、年齢、性別、国籍や文化の違いを超えて人とのつながりを持ちたいと考えている生徒。
（3）これまで、自分に自信が持てなかったり、自分のよさを見つけられずにいたとしても、高校で身に付ける基礎的・基本的な知識や技能を様々な体験の場で活用して、自分の良さや活躍場面を発見し、将来自分らしく、たくましく生きていきたいと考えている生徒。

2つのコンソーシアムによる
地域連携協働体制

共生社会の実現
<住み続けられる町づくり>

■生活福祉系列■
- 共生社会実現のための教科横断授業
- 高齢者福祉施設のとレクリエーションを授業で企画・実施（遠隔でも実施）
- バリアフリー農園の実現
- 認知症カフェ等の企画・運営

<農福連携>

■生産ビジネス系列■
- 農作業理解（手順書づくり）
- 障害者実習販売体験
- 養護学校生徒との合同授業
- 就労補助実習
- コラボレーション商品企画・販売

<高専連携>
- 専門学校との連携カリキュラム編成・実施
- 専門学校生とのワークショップ
- 専門学校授業への参加

地域食材の活用

■生産ビジネス系列■
- エディブルフラワーの生産
  ↓
- 新しい地域食材として生産、加工、販売の実践的学習へ

シュガーガーデン
（学校購買業者）

エディブルフラワーを用いたスィーツを試作、購買での販売を検討

<今後の課題>
- フード・ロスの軽減化
- 農場規模の適正化

小・中学生へのアピール

□１dayサポート
- 小・中学校における総合的な学習の時間の福祉体験を生徒がお手伝い
- 小学校の花壇を生徒と一緒に整備

□町内清掃活動
- ボランティア同好会が小学生に募集して協働で清掃活動

□中学校での高校説明会
- 学校PR局の生徒による高校の説明、進学相談

ワインの製造、販売

■生産ビジネス系列■
- 「余市町20才のつどい」で記念品として配布
- 通年でのワイン用ブドウ栽培・醸造、ボトリング実習・販売
- 総合学科全国大会北海道大会での生産物販に出品
- 商業の授業でラベル作成

後志総合振興局
（商工労働観光課）

しりべし商談会2020に参加、出品。バイヤーからのラベルや販売に関するアドバイスをいただきました

札幌地下歩行空間での販売実習

ワインを始め生産物の委託販売、実習販売へ拡充予定

商店街活性化
★スタンプラリーの実施（２年目）★
★クリスマスリースの作成、配布★

顔の見える求人・求職
★校内企業等合同説明会の実施★
★インターンシップへの協力★

連携拡充
★他課、他機関等への橋渡し
★コンソーシアム推進、コミュニティースクールへのコーディネート　等

学校法人西野学園
札幌心療福祉専門学校

農福連携コンソーシアム

カゴメ株式会社 東京本社
株式会社 ネクストリソース
株式会社 ｄｉｓｐｏ
ＮＰＯ法人 どりーむ・わーくす
竹内農園
吉岡農園
北海道教育庁
余市町
余市養護学校

持続可能な地域づくり
○地域協働の基礎
○安心して暮らし続けられる地域社会形成
○在り方・生き方の醸成
○持続可能な教育環境
<本校のSDGｓテーマ>

余市紅志高校

余市紅志高校をハブとした
地域づくりコンソーシアム

フルーツシャトー よいち
余市町教育委員会
ワイナリー夢の森
商工会議所
余市町観光協会
後志教育局

共生社会の実現　＜安心して住み続けられる地域づくり＞

高齢者福祉施設「フルーツシャトー」との連携

身体が不自由でも車いすでも、園芸を楽しめるプランター農園の設置、播種、栽培、収穫、調理までの計画を入所者、所員に提案、企画・運営を実践しました。

農福連携　バリアフリー菜園＋高齢者福祉

高齢者福祉施設「かるな」との連携

施設交流

コロナ禍下でもオンラインでレク

余市町認知症カフェ運営事業

あずましい余市カフェ
× 余市紅志高校

入場無料
入退場自由

今回のテーマ
「かたろうよ」

とき　11月21日　（火曜日）
13:00～15:00
ところ　余市テラス（余市町黒川町10丁目3-27）
TEL090-1303-1618

【あずましい余市カフェとは?】
あずましい余市カフェは、認知症について関心のある方はもちろん、認知症の方、その方ご家族、地域の方、専門職の他、どなたでも気軽に来ることができるカフェです。

【今回の内容】
今回のあずましい余市カフェのテーマは、高校生が考えた「かたろうよ」です。美味しいお飲み物や甘いお菓子（飲み物・お菓子ともに100円）を食べながら皆さんで好きなこと、聞いてほしいことなどを思いっきり語り合いましょう!!

【お問い合わせ－お申し込み】
余市町社会福祉協議会（TEL 0135-22-3156）までお電話でお申し込みください。締め切りは開催日は一週間前になります。
※当日参加も可能ですが、準備の都合上、できる限り、事前申込にご協力お願い致します。

【主催】
社会福祉法人余市町社会福祉協議会（余市町委託事業）

【協力団体】
余市紅志高等学校ボランティア局・余市町地域包括支援センター・余市町在宅介護支援センター・余市町認知症の人を支える家族の会・医療法人社団修徳会 林病院

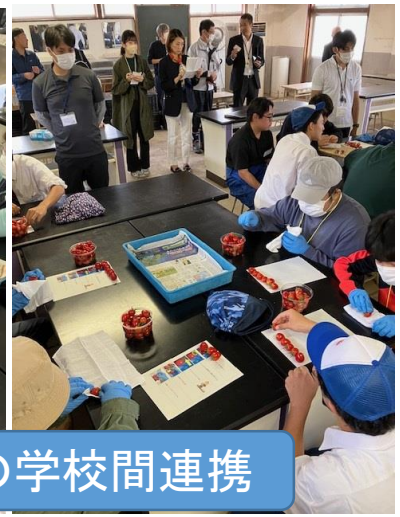
社会福祉協議会＋地元カフェとの連携

コミュニティーづくり　自ら企画・運営が大切

余市養護学校との
合同商品開発

学校間連携

ジャムと木べらセット　イオンで販売



札幌心療福祉専門学校＋余市養護学校との学校間連携

農福連携 障害のある生徒も働いて自立できる地域を

地域資源の活用・地域を元気に　＜豊かに住み続けられる地域づくり＞

地元「夢の森ワイナリー」との連携

地域のワイナリーでワイン用ブドウ（ケルナー）を栽培し、収穫や醸造、ボトリングなどの作業を経て、今年から販売することができるようになりました。ワインの町として地域の方にワインに親しんでいただくためにこのワインをどのように活用したらいいかを考えることを目的としています。

また、商工会議所のと連携で町の商店街を元気にする目的でスタンプラリーも実施しています。

地域資源活用 商業科目ではラベルの作成も